

町内探検隊

今月の舞台 箕輪町



町内会長の加藤さん

今回は、箕輪町の町内会長である加藤さんに、まちの紹介してもらいました。

◆活発な公民館活動

現在の公民館分館は、年間に約650回の利用があります。カラオケや社交ダンス、空手などその内容はさまざま。また、母子教室や小学生の浴衣の着付け教室もあります。老若男女が集まる、町民交流の中心です。

◆町施設のリニューアル

4月に、町公民館分館を新設・移転します。新しい分館には、大きなホールを建設中です。人気のカラオケが一層盛り上がるよう、ミラーボールを設置する予定なので、今から開館が楽しみです。

◆青年団活動

町内青年団主催の敬老会と盆踊りは、毎年恒例のイベント。特に敬老会は、今年度で100回を迎えました。今や、若者が町内の老人を敬い祝いイベントは珍しく、全



青年団による敬老会

国に誇れます。

◆「向こう三軒両隣」が目標

運動会や芸能発表会など、レクリエーションを数多く開催する一方、自衛隊を招いての防災訓練なども実施しています。三河安城駅周辺に、新しい住民が増えてきている箕輪町。古くからの住民も交え、「向こう三軒両隣」をキャッチフレーズに、支え合い、助け合いの文化を一層強めたいですね。



町内芸能発表会のようす

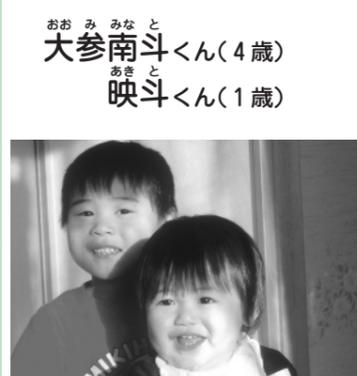
元気っ子アルバム



杉浦知花ちゃん(3歳)
美歩ちゃん(9か月)

知花おねえちゃんがとても好きな美歩です。歩けるようになったら、もっといっぱい遊んでネ♡

お父さん：賢一さん
お母さん：千鶴さん (古井町)



おおみみなと
大参南斗くん(4歳)
あきと
映斗くん(1歳)

いつも一緒に遊んでくれたりお風呂に入ってくれるお兄ちゃんが大好き♡これからわんぱくなばくをよろしくネ♪

お父さん：俊基さん
お母さん：厚子さん (赤松町)



園田実唯ちゃん(1歳)

公園大好き、みゆです♡公園では、すべり台やお砂場遊びが大好きです。今は、トイレトレーニングがんばってます。

お父さん：真宏さん
お母さん：富美子さん(住吉町)

「元気っ子アルバム」コーナーでは、市内在住の人のお子さん(未就学児のみ)を写真と文章で紹介します。5月1日号以降掲載分の申し込みは、3月9日(木)午前9時から先着順となります。電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ申し込みください。



わたしの望遠郷

名古屋市熱田区

わたしは名古屋市の熱田区で生まれ育ちました。



子どものころ、自転車でよく遊びに行ったのは、熱田さん(熱田神宮)。樹齢1000年近い木々が生い茂り、都会の中とは思えないほど静か。どこかへタイムスリップしたのかと思えます。境内にある多くの社殿の中で、必ずお参りするのは、目の神様が祭ってある清水社。近眼のわたしには欠かせませんでした。また、特にお気に入りだったのが、南神池。ここにいる亀は、天気の良い日に、岩の上で重なり合いながら甲羅干しをします。のどかで心が和む光景を今でも思い出します。

平成元年、名古屋市制100周年を記念した世界デザイン博覧会が、市内3か所で開催されました。そのうちの1つ、白鳥会場は、家の近くにある白鳥公園が舞台。わたしも遊びに行きました。公園内にある名古屋国際会議場や白鳥庭園は、博覧会の時に作られたものなのです。

熱田区にいたところは、家が片側3車線の道路に面していたので、毎日車の音を聞いて育ちました。大型ダンプが通るたびに、大きな音がして、地震を思わせるほど家がゆれました。

結婚して移り住んだ東端町。静かなところかと思っていましたが、車の音の代わりに、カエルや虫、鳥の鳴き声などいろいろな音が聞こえます。周囲のにぎやかさは、あまり変わっていませんね。

磯村圭子さん(東端町)



世界デザイン博覧会の白鳥会場

スクールナビ

二本木小学校

「今日の『はあとタイム』は、『まなブックルーム』で読み聞かせがあります」

毎週金曜日、給食の時間に放送される言葉です。「はあとタイム」とは昼休み、「まなブックルーム」とは読み聞かせのために用意した部屋のこと。

子どもたちの読書への関心を高めるため、昭和62年度からPTA活動で続けている読み聞かせ。現在は、毎週月曜日と水曜日に1・2年生、毎週金曜日



読書祭りでの読み聞かせ

全児童を対象に実施。毎年10月の読書祭りでは、ピアノの生演奏とともに、PTAが全児童の前で読み聞かせをしています。

平成15年度からは、保護者の有志が集まり、図書館ボランティア活動を始めました。新規購入図書の登録や、破損した図書の修繕など、子どもたちの読書環境を支えてきました。

こうした努力が実を結び、本年度、読書活動優秀実践校とし



まなブックルームでの読み聞かせ

て、文部科学大臣から表彰されました。

読書活動のほかに、教科の学習にも保護者の支援があります。例えば、ボランティアでプール監視員をしたり、3年生社会科「あくるバスの旅」に付き添ったりと、子どもたちの安全を守る活動にも積極的です。

保護者の学校に対する温かい心が、二本木小学校の教育を支えています。



図書館ボランティア